

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業の取組(活用実績)

特別支援学校の安全な通学環境の確保

鳥取県教育委員会事務局特別支援教育課

【学校保健特別対策事業費補助金(国補助)】

【事業概要】

◆目的

児童生徒の通学時の感染リスクを低減させるため、特別支援学校のスクールバスの増便等を行う。

◆交付金を充当する経費内容

感染症拡大防止のためのスクールバスの増便等

【事業の分類】

公助・感染拡大防止

【事業費(決算額)】

事業費 28,706,186円

臨時交付金充当額 14,000,000円

【事業の対象(交付対象者、対象施設等)】

◆期間

令和3年4月から令和4年3月運行分

◆対象者

特別支援学校に通学する児童生徒のうち、スクールバスを利用する者

【事業の効果検証】

・乗車率が60～90%だったスクールバスの乗車率を50%以下に抑えることができ、感染リスクを低減させ、安心して通学できる環境整備ができた。

・児童生徒の保護者から、新型コロナウイルス感染症への感染が心配で登校できなかつた子が登校できるようになった等の感謝の声があった。

【事業実績】

・特別支援学校のスクールバスのうち、3校(白兔養護・倉吉養護・米子養護)の13コースのうち、乗車人数の多い7コースについて、増便(4コース)又は大型化(3便)し、運行した(介助員の増員含む)。

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業の取組(活用実績)

特別支援学校における ICT 教育充実

鳥取県教育委員会事務局特別支援教育課

【特別支援学校における ICT 教育充実事業(単県)】

【事業概要】

◆目的

ICTを活用した教育を推進することにより、障がいのある子どもたちの学びの意欲を引き出すとともに、一人一人の能力を最大限に発揮できる学習指導を展開し、将来の自立と社会参加に向けて情報通信技術を活用できる力を育てる。

◆交付金を充当する経費内容

ICT 支援員の派遣(人件費)

【事業の分類】

公助・感染拡大防止

【事業費(決算額)】

事業費 2,107,000円

臨時交付金充当額 2,000,000円

【事業の対象(交付対象者、対象施設等)】

◆期間

令和3年4月から令和4年3月

◆対象者

特別支援学校の児童生徒・教職員等

【事業の効果検証】

- ・新型コロナウイルス感染予防のため、複数の教室で少人数の授業を行う場合でも、オンラインで合同授業を実施する等の対応が ICT サポートの活用により可能になった。
- ・授業の中でiPad等の機器の効果的な活用方法について助言、指導を得ることができた。
- ・各学校のニーズに応じて、ICT機器を活用した授業が効果的に進められるよう、校内の研修を行うことができた。
- ・各県立特別支援学校に計111回 ICT 支援員を派遣し、学力向上や学びに対する意欲を引き出すための支援体制の充実を図ることができた。

【事業実績】

- ・オンライン授業の円滑な実施
- ・情報モラル、プログラミング教育等の研修会の実施
- ・ICT を活用した校務支援に向けての指導助言